

8月号
2024 Vol.13

田水郷通信

◆ Topics

- JICA課題別研修のため来日した海外研修員の視察対応を行いました
- 大郷小学校で出前講座を実施しました！
- 田水郷コラム「地域を守る！排水機場」



第11回農美里フォトコンテスト受賞作品
「思い出の風景（大崎市）」

JICA課題別研修のため来日した海外研修員の視察対応を行いました

令和6年5月24日、29～30日にかけて、開発途上国9か国の農業農村開発実務担当者11名を対象とした研修を実施しました。

このうち、5月29日～30日の2日間には、実際に事業が進められている地区を訪問し、ほ場や排水機場の整備状況を視察しました。

29日の研修では、午前には石巻管内で「西小松地区」における区画整理工事を実施した農地を見学しました。現場では、整備前後の農地の区画形状や道路、用排水路等について、パネルを用いて紹介しました。

午後には、過去に東日本大震災で大きな被害を受けた「大川地区」の農業用施設を見学しました。大川地区では、農地の復旧後、積極的に営農が進められ、現在では新たな農業生産法人を主体として、新たな地域農業の生産体制の構築と雇用の創出につながっています。



▲西小松地区視察の様子



▲長面排水機場視察の様子

30日には、大河原管内「角田地区」で改修工事を実施している江尻排水機場のほか、「尾袋川東地区」で大区画整備を実施したほ場や、「日本の棚田百選」にも選ばれている丸森町の大沢尻棚田を視察しました。

角田地区では、水稻を中心として、野菜、果物などを組み合わせた農業経営が展開されています。また、当地区では高収益作物の拡大も進められており、それらの根幹を支える江尻排水機場の改修は非常に重要となっています。

丸森町の大沢尻棚田は、もともと荒れた田んぼがわずかにあっただけでしたが、人々が江戸時代から長い年月をかけ石垣を積み上げ、地道に整備していった結果、現在の姿となりました。棚田は、美しい稲作風景を作るほか、洪水や土砂崩れを防ぐなど、治水にも重要な役割を果たしており、近年はその価値が見直されています。



▲江尻排水機場視察の様子



▲大沢尻棚田視察の様子

大郷小学校で出前講座を実施しました！

7月16日（火）に大郷町立大郷小学校3年生68人を対象に「ため池事故注意喚起講座」と「田んぼダム出前講座」を実施しました。

講座のはじめには、夏休み前の小学生に対して、ため池への転落事故について注意喚起を図ることを目的として、ため池に潜む危険性や守るべきルールについて、動画を用いて説明しました。

後半には、宮城県で近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留機能を最大限活用し洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組についても総合学習の一環として講座を実施しました。講座内では理解を深めてもらうため、模型実験を行ったところ、児童たちが興味津々で実験を見学してくれました。

講座終了後は地元テレビや新聞に取り上げられ、県内各地の方々に事故や災害の危険性を知ってもらうまたとない貴重な機会となりました。



▲ため池事故注意喚起講座の様子（テレビ放映）



▲田んぼダムの模型実験を見学する児童たち

なお、今回の講座で用いた動画は、事故に遭わないために守るべきルールなど「ため池の危険性」について説明しているほか、地域の暮らしや景観との密接なつながりなど「ため池の役割」についても詳しく紹介しています。

本動画は、下記のURLまたはQRコードから視聴できますので、小さなお子様がいるご家庭では、この機会にぜひご覧いただき皆様の安全な暮らしを送るための一助としていただければと思います。

動画紹介ページ（農村振興課HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/n/sonshin/tameike-rule.html>

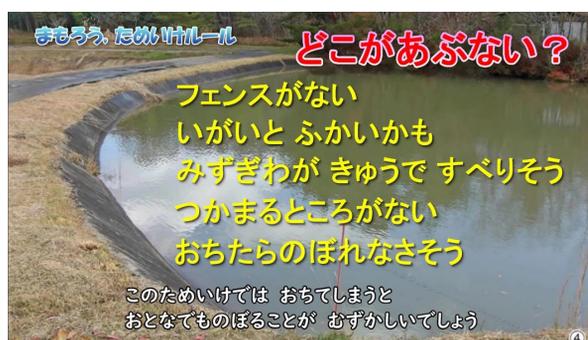
動画QRコード→



（宮城県広報課YouTubeチャンネル）



▲ため池事故防止動画タイトル画面



▲危険性を具体的に説明



右の写真は、宮城県内のとある水田地帯の様子です。写真には河川のすぐそばに四角い建物が見えますね。皆さんはこのような建物を見たことがありますか？

この建物は「排水機場」といいます。ふだんは田んぼや畑、住宅地に降った雨水は排水路を通して河川へと流れ出ていますが、低い土地では排水が集まります。そこで、農地や住宅地を洪水から守るためにこの建物が大きな役割を果たすのです。

排水機場の中には、「ポンプ」と呼ばれる装置が入っていて、台風などによって大雨が降ったときには、水田の排水路からあふれそうになった水をくみ上げて河川へ流す仕組みになっています。

県内には他にも様々な排水機場がありますが、いざというときに排水ポンプが使えるように、点検や試運転が行われています。

急な大雨が降った時でも私たちが安心して暮らすことができるのは、このような施設の日常的な管理があるおかげなのです。



▲五ヶ村堀排水機場



▲排水機場内のポンプ

～宮城県農業農村整備関係部署一覧～

県庁農政部 農山漁村なりわい課 農山漁村調整班、交流推進班 中山間振興班、6次産業化支援班 農村振興課 指導班、企画調整班、地域計画班、 技術管理班、広域水利調整班、 農村整備課 事業経理班、換地・用地班、ほ場整備班 水利施設保全班 農村防災対策室 防災対策班、ため池対策班	022-211-2657 022-211-2861 022-211-2871 022-211-2875	県出先機関 大河原地方振興事務所 農業農村整備部 仙台地方振興事務所 農業農村整備部 北部地方振興事務所 農業農村整備部 北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部 東部地方振興事務所 農業農村整備部 東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部 気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部 王城寺原補償工事事務所	0224-53-3111 022-275-9111 0229-91-0701 0228-22-2111 0225-95-1411 0220-22-6111 0226-24-2121 022-345-5175
--	--	---	--

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/